

注1 参加者 182 人，アンケート 19 枚。1～19 の番号をつけ項目ごとに表示した。

注2 表記は明らかな誤字を修正し，漢字に直せるものは漢字に直した。

注3 読点はカンマに統一した。

第1部 提案授業 模擬授業1 「論理的に読む学習」(6年) 池田尚子

- 1 抽象と具体という言葉が難しい内容について，文章の抽象・具体について扱う前に分かりやすいものの名前から入ったことで，学習者が参加しやすい形となっていて，大変勉強になりました。
- 2 文章の骨子が分かりやすい授業でよかったです。黒板の構成も低位の児童にも分かるようになっていて，こちらの板書案に付け加えさせていただこうと思いました。有難うございました。
- 3 児童の身近な言葉(みかん，ぶどう等)を題材に導入・展開されている点が良かった。授業を受ける意欲が高まると感じた。しかし，指導案をそのまま読んで淡々と進めており，児童が授業を受けているというよりは，作業をしているという感じがした。題材はとても良いのに，わくわくしなかった。指導案はあくまで案で目の前の児童(役)とのコミュニケーションを取りながら，反応を見ながら行った方が良い。一方通行のような印象を受けた。時間の制限があるので難しかったとは思いますが，文章構成の可視化が上手くなされていただけに，残念だった。
- 4 具体と抽象の指導方法を是非，真似させていただきたいと思いました。
- 5 指示や発問が明確で言葉や文章の抽象と具体，文の構造が捉えやすかった。生徒も集中して取り組むことができていた。リズムとテンポがよく，分かりやすい授業でとてもよかったです。
- 6 具体・抽象を黒板の上下で視覚化させていたのが，分かりやすくて良かったと思います。
- 7 具体と抽象を高さで視覚化され，分かりやすかったです。やってみたいと思いました。有難うございました。
- 8 導入の具体と抽象の区別が分かりやすく，学習内容に興味を持ちやすいと思いました。
- 9 探求マップがシンプルで分かりやすかった。どれが抽象，具体的なかを見つけやすくなっている。抽象か具体かが分からない児童にとって，見つける手立てとなっていてよかったです。
- 10 「具体と抽象」のスマールステップでの捉え，とても参考になりました。2つの間の往還によって書き力が育てられるという点も実践してみたいと思いました。
- 11 探求シートが視覚的に分かりやすく，とてもよかったです。子供の主体性を引き出す，子供と教師の遣り取りがもう少しあるとよかったです。
- 12 リライト教材が子供たちにとってイメージしやすい内容で分かりやすかったです。ただ，6年生にしては難しかったです。
- 13 まとまり同士の関係に注目すると，文章の構造が分かる，というのが目に見える形で示していただけだと思います。具体と抽象について単語を替えながら押さえることで，理解が深まったと思いました。
- 14 抽象と具体を丁寧に段階的に指導されていて，とても分かりやすかったです。

- 15 文章を構造的に捉える、大変分かりやすい内容であった。シンプルにまとめることが、子供にも理解しやすいものとなる。
- 16 「具体と抽象」の例として示された「仲間外れ」という言葉に違和感がありました。→「具体と抽象」という知識・技能を身に付けるために、言葉の層を分類・整理したものと思われます。つまり、「くだもの」の中に入る「なし、りんご、みかん」などには、「くだもの」という分類の中に入る具体物ではあるが、相互に論理的関連性は存在しない。とすれば、これが学習活動そのもののモデルとして考えられるのか、という疑問を持ちました。
- 17 具体と抽象という説明が分かりやすく、黒板の上下を使って文章の構造を可視化していた点も理解しやすいと感じました。
- 18 食べ物を野菜のカードの上に貼った子供がいたとき「くだものは？」とか「なぜ野菜の上に貼ったの？」と聞いてみたい。その意図が子供の言葉で説明できれば、具体と抽象に気づけた（身についた）と言えるのではないだろうか。この文章における具体と抽象はどのように子供たちに捉えられるのか？ 「ふさわしい」とは何？ ←こういうところから深められるのでは（自分たちが見つけられる）ないかなと思いました。
- 19 分かりやすく明快であるが、いささか平板であり、面白さに欠けると思います。学習者の既有知識・生活経験をもっと引き出す方がよいと思います。主体的・対話的で深い学びのためにも。

第2部 検討1 「論理的に読む学習」

- 1 マップを活用することで、横軸と縦軸を合わせた構造で文章を理解することができるのだと分かりました。
- 3 文章構成を探求マップという形で可視化した点、非常に参考になった。どういった試行錯誤があつて、ああいった形になったのか、そして、リライト教材を作成した過程について、知りたかった。リライト教材が良いということは分かっても、どのような手順で作成していけばよいか、が分からないという教員は多いと思う。
- 4 リライト教材価値を再認識しました。
- 5 論理的文章を具体と抽象という視点から構造的に読むという読み方が面白かった。大変勉強になりました。
- 7 目に見える形、大事にしたいです。
- 8 模擬授業を見ただけでは、子供の反応はどんな様子かと思っていましたが、実践された先生の話聞いて、図にかいてまとめ、視覚的に論理的文章をまとめることのよさを実感しました。
- 13 4名の登壇者の先生方のお話がそれぞれ実践で活かせるような内容だったので、とても勉強になった。(抽象と具体、思考の型、リライト教材、構成マップなど)
- 14 抽象、具体、この学習を子供たちが主体的にするにはどうすればという御指摘が興味深かったです。
- 15 書くことのできる学生を育てられるよう、文章の構成、一段落一事項を指導していこうと改めて思った。討論の内容は難しく感じる面もあつたが、面白かった。
- 16 続きとしてもう一つ疑問。マップに示された「問い」「答」と、根拠が同じ座標上に示されるも

のなのか、と思いました。

- 17 私は論理的文章を構造的に「読む」という点から探求マップは大変有効だと思いました。「書く」という観点からも、横の軸、縦の軸で整った文章になる手助けになると考えます。
- 18 子供たちが主体的に学ぶには、身近なものに目を向けることが大切だと改めて感じました。中学生では、理科的な文章や歴史、自然のものも多く、文章全体が自分の生活と離れているものを多くなります。だからこそ、段階を経て、子供たちが学んでいくことが必要ですね。
- 19 充実していたように思います。

模擬授業2 説明的な文章「すがたをかえる大豆」(光村3年下) 柳谷直明

- 1 題材で何を伝えたいのか、筆者は内を伝えたいのかに着目させることで、文章の構造と意図を理解させるのだと勉強になりました。
- 2 20分間の短い時間にもかかわらず、必ず振り返りを入れていたところが、児童の学びを深めることになり、素晴らしいと思いました。そして、始終笑顔で、すかさず児童を褒めているところが印象的でした。
- 3 まず、学会会長自ら授業を行ってくださった姿勢、本当に素晴らしいと感じた。理論だけでなく実践を重ねながら、言語技術教育に向き合っていこうとする姿、見習っていきたい。児童(役)とコミュニケーションを取りながら、筆者の意図に理由を明確にしながら迫る手法が参考になった。対象が小学3年生であるので、「意図」という用語でずっと進行するよりも、「筆者はどのようにこの文章を書こうと思ったか」と問うた方が良かったと感じた。用語を児童にずっと落とすためには、それがどういう意味か、どう使うのかを十分理解させることが先決で、それを踏まえた上で「こういうことを用語で短くまとめられる」という納得感が出ると思う。
- 4 「条件に基づいた意図の行為化」を意図の読み取りと他の人の評価で繰り返すのが効果的だと思いました。
- 5 筆者の意図を捉えるということが、小学3年生には、少し難しいと感じられた。説明的文章では、筆者の言いたいことや主張を捉えさせることを中心にした方がよいと思う。
- 6 3年生の教材にしては、難しいと感じました。
- 7 意見を伝えるときの技術が学びになりました。筆者の意図と理由を書き、伝え合う。そのときに、どのようなものがよくて、どうしたらよくなるのか。検討をどうしたらいいのか知りたいと思いました。
- 8 意図に注目して、授業を展開するのは、面白いと思いました。ただ、実際に3年生で「意図」という言葉を遣うのは難しいのではないかと感じました。
- 9 段落やまとめ、具体例など、初めて知る3年生にとって、良い教材だと思っている。そんな中、児童に何を読み取らせるか、いつも悩む。一つ目は、「筆者の考え＝人々の知恵」か「大豆の詳しい説明」なのか。もう一つは、次の単元である「大豆をかえる〇〇」にどうつなげて、書かせるのか。3年生になって、「読む」と「書く」どちらを重点に置くのか考えたい。
- 11 先生の授業の雰囲気がとてもよかったです。意図は小3には厳しいと感じました。
- 12 事後検討の中でも話に出ましたが、「意図」という言葉が大変難しく、3年生の学習というイメ

ージがつきませんでした。

- 13 友達の意見に対して、自分と比べて評価する活動は深い学びにつながると思いました。考えを重ねていく活動はとても大切だと思いました。○、×で評価し合うのは、×というのは難しいのかなと思いました。
- 14 筆者の主張ではなく、意図を捉えさせる。また、その理由を考えさせ、評価コメントし合う展開、とても楽しかったです。とても参考になりました。
- 15 3年生が筆者の意図をまとめるのは難しいと思った。まとめることのできない児童はどうしたらよいのか。
- 16 「学習用語」の御提案、61 ページに於いて、例として提示されている、横軸の関係性が明確でないところが課題だと感じます。学習用語の「何」と「何」がどのように関連するのかが少しずつ明確になれば、「意図」をどのように学習者へ提示できるか、という言語技術を明らかにできるのではないかと考えます。
- 17 自分の考えをまとめて発表する。友人の発表と自分の意見とを比較する。良い点を見つけるなど発表を通した言語活動の学びが上手だと思いました。
- 18 筆者の意図というのは、なぜ大豆のことを書いたのか、という意味ですか？ このことを考えるときには、文章のどこを根拠にするのか？ 昔の人の知恵に驚いたから、という子供がいてもいいですね。そうすると、なぜ驚いたの？ というところが、本論に戻る切っ掛けになりそうです。段落相互の関係はこういうところから迫っても面白いなと思いました。
- 19 筆者の意図は○○だと考えます。文中に○○○と書かれています。(条件3：根拠) どうして、筆者の意図が○○だと考えたかというところからです。(条件2：理由) 論理的な思考力・表現力を育てようとしていると思います。「意図」よりも「主張」の方がよいのでは？

検討2 説明的な文章1

- 1 発達段階に合わせた用語の学習、この单元では何を学ばせたいのか身に付けてほしいのかを何に着目し決め、展開していくのか勉強になりました。
- 2 学習者に評価が委ねられている。実は私もそうしておりました画、色々な解釈があるのかと考える直しておりました。モヤモヤしたのが晴れました。
- 3 主に「意図」について論が展開されていた。「意図」だけでは言語技術ではない、という意見には賛成である。加えて、「書き手の意図」と両輪として考えていきたいことは、「読み手への効果」である。おそらく書き手は読み手への何らかの効果を期待して、意図を込めた書き方をしているはずなので、意図と効果をセットで捉え、考えていくことが必要であると考えます。
- 4 「意図の意図」「用語≠技術」等、考えさせられることが多くありました。
- 5 言語技術＝「学習用語」ではないということが話題となり、なるほどと思った。論理的文章を分かりやすく読んだり書いたりする技術が大切だと改めて感じた。
- 7 「読むこと」で用いた観点を活かして書くことを大事にしたいです。
- 10 小・中・高・大が一緒の会場で学ぶ意味が大きい。自分が今指導していることが子供たちにとってどんな意味があるのか、よく考えたい。

- 13 児童・生徒の実態に合わせて、段階を踏んだ指導をしていくことがとても大切だと思った。学習用語＝言語技術にはならないという大内先生の言葉に納得しました。『すがたをかえる大豆』の面白さ、教材としての可能性がよく分かった検討だった。
- 14 意図を捉えるというのは、やや段階として早いのでは、という御指摘がありましたが、是非、中学年で実践したいと思いました。
- 16 「学習用語」と言語技術との関係性は、今後明確にしていけないといけないと感じました。
- 17 内容が大豆という児童にとって親しみが持てるもので、文章そのものを理解することができると思うので、そういった題材で意図ということを考えさせるように発展したことに意味があると思います。
- 18 なぜ、そのように書いたのか。どのように読み取るのか。知恵をたくさん出すことで、伝えたいことがあるのではないのでしょうか。
- 19 充実していたように思います。最後の発言で、指定討論者の國府田先生は具体例（中）が多すぎると述べていたが、「いろいろなすがた」で食べられていることを伝えるのだから、「多すぎる」ということにはならないと思います。むしろ、具体例を減らすことの方が問題。

模擬授業3 説明的な文章「天気を予想する」（光村5年） 井上義弘

- 1 具体例を考えさせることで、文章の構造のみでなく、根拠にはどのようなものが考えられるのかを児童が深められる内容で勉強になりました。
- 2 予め「はじめ」と「おわり」が書かれているワークシートを活用して、「なか」は何が書いているのか本文を読んで深めさせる活動が低位の児童にも有効だと思いました。使わせてもらおうと思います。有難うございました。
- 3 終始ににこやかに、柔らかい言葉かけで授業を進めてくださっており、安心して自分の意見を言えるような雰囲気の中で授業を進めてくださっていた。これは非常にすばらしい、授業者の言語技術だと感じた。（言語技術三層のⅢ）しかし、具体例を専門的な知識がないまま出させるというのは、難しい活動であると思う。推測をするしかなく、話題を捉えたといえるかは疑問であった。もし、具体例を出すのであれば、図表資料を複数提示し、それを言語化する等の活動であれば考えられる。しかしそうすると、教科書の本文の存在自体が揺らぐ危険をはらんでいると思う。
- 4 大学生でも難しいと感じる活動をどうすれば小学生でもできるようになるか、興味があります。
- 5 説明的文章の構成に着目した指導はよかったと思う。なかの具体的事例を自分なりに考えて書くというのは、小学5年生には、やや難しいと感じた。科学技術の進歩の例として、具体的にどんなものを挙げていますか、などの間で、教科書から指摘させる方が分かりやすいと思った。
- 6 先に文章全体を読んでしまっており、小学生でも分かるような例を挙げるとき、本文以外の例を考えるのかと勘違いしたため、挙げるのがとても難しいと感じてしまった。始めと終わりを読んで、「中」を考えさせる、という方法はありそうでなかなかない方法だと思いました。大変参考になりました！
- 7 話題（題材）と結論を読み取り、事例を予想することで構成がよく分かると思いました。実践に活かしていきたいです。

- 8 読み込む前に、「中」に書いてあることを予想するのは、面白いと思いました。
- 9 児童に指導していく上で、天気に関する知識をまず導入で教えることが大切だと思った。また、児童に噛み砕いて説明すること（発問）も大切だと感じた。何を教師が教え、何を児童に考えさせるか、明確にしたい。
- 11 事例の予想は自分もやってみたいと思いました。
- 12 始め、終わりで問いと答えを押さえた後に中を入れていくことは、文章の全体を捉えるためにとても大切だと感じました。
- 13 「なか」の部分予想させるのは、学習に対する関心を高める意味でとても大切だと思いました。補足させるのは、自分の言語を鍛えるために有効だと思います。
- 14 問い→答え→そして、答えの例を予想させるという展開がとても興味深かったです。
- 15 ワークシートはとても面白かった。活用してみたい。具体例を書き出す指導も試してみたい。
- 16 バックキュスティング、「逆読み」という言語技術を身に付けさせる授業の提案であったと考えます。これは、汎用的な「資質・能力」として捉えられる重要な要素です。学習者の予測と筆者の示す根拠・論理との共通点・相違点とを比較して考える手立てとするということが大切であると考えます。
- 17 問い（始め）と結論（終わり）を確認して、中を考える学習が文章の構造を理解しやすくしていると感じました。具体例を挙げてみるという活動が面白そうでしたが、天気の知識がないと答えるのが難しそうだなと見受けました。
- 18 自分たちで本論を予想するというのはステキだなと思いました。筆者になったつもりで書き手として説明文を考えることで、具体例、説得力のあるデータなど自分で集めて書きたくなると思います。中学生でも実践できそうです、してみたいと思います。実際の文章に書いて、中2、3にある内容については、相互の関係なども踏まえて、どのように押さえていくのでしょうか。
- 19 事例を予想させることで、学習者の既有知識・生活経験を引き出した上で、筆者の事例と出会うという比べ読みによって、テキストとの対話（なぜ、筆者は～だろう）、更に批評（事例の挙げ方はどうか？ 分かりやすいか、適切か？……と吟味すること）へと向かう学びを生み出そうとしているのは、大変共感できました。主体的・対話的で深い学びになり得ると思います。真の言語技術（なか＝具体例）も習得できると思います。

検討3 説明的な文章2

- 1 用語の難しさ、具体例を考えさせるときの条件付け等、単元の中での学びやすさや今後の学びへのつながりについて勉強になりました。
- 3 授業提案に対する討論というよりは、「書くために読む」指導の是非についての討論に終始してしまっただけに感じる。事例を考える活動は小学5年生には、難しいのでは、という意見が出ていたが、それで終了してしまったので、ではどのような言語活動が有効だったか、という論議がなされていたら、もっと良かったのではないかと思う。
- 4 文章構成の捉え方は難しいと思いました。「書くために読む」のか否かという議論がとても面白かった。

- 5 論理的な文章指導において、書く力をつけるために読む、そのため文章構成や要点を読むという言語技術と題名に着目させたり、筆者の驚きに目を付けさせて読ませたりするという考え方が対立して出ていた。論理的思考力や表現力を身に付けさせるためには、書く力に結び付く読む力をつけることが、これから大切になると思った。
- 7 俯瞰的に文章を捉える方法の一つを学ばせていただきました。
- 8 「書くために読む」説明文を扱うときにどうしても内容や仕組みに重点を置いてしまい、書くための指導ができていなかった。将来的に書くことができるように、書く指導をすることが大切だと思った。
- 10 題名の大切さ、教材研究の大切さを感じました。教師が学び、教材の面白さを知るだけで、教え方は変わると思いました。
- 12 学習用語について知ることができ、学びになりました。
- 13 曖昧なところもある教材だけに、登壇者や授業者の捉えも様々で、いろいろな可能性がある教材だと思いました。
- 14 読解型の文章を安易に書くことにつなげないという御指摘が興味深かったです。
- 16 私は、「逆読み思考」(資質・能力)を育むために①論理的な文章の要旨を導くプロセスを考える力、②根拠を予測する力などがターゲットと考える。バックキャストで考える力、その論理を捉える力など、逆向きにするだけで、(問い方で)学習者の様子も変わってきます。
- 17 私の弟は高3で本を読むことが大好きですが、読書感想文を書くことが出来ません。「何を書けば良いのか分からない」と言っていました。まずは文章を「読む」ことが大切ですが、文章の構成などを学んだ上で、「書く」ことに繋げる学習はとても重要だと感じています。
- 18 書くことを考えたとき、今回の題材は構成が複雑であるように思います。まず、筆者の主張は押さえてほしいですね。でも「書く」というところなら、やはり、初めの2つの具体例を書いてみるのが面白いなと思います。単元構想では、この後要約になっていましたが、子供の思考の流れから離れてしまうのではないかと思います。
- 19 充実していたように思います。大内先生の主張には、賛成です。説明文の学習指導を「書くこと」に安易につなげるべきではないと思います。まずは読解力をつけることです。その上で筆者の説明・説得の技術(書き方)を学ぶことは大切。

模擬授業4 文学的な文章「ふきのとう」(光村2年上) 岩下 修

- 1 お日さまと他の登場人物との違いに着目させ、お日さまの特徴を把握させる過程が面白く勉強になりました。
- 2 短い段落の中でたくさん読ませて(発見させて)素晴らしかったです。
- 3 授業実践の熱意を感じた。「ふきのとう」という教材について、細部にわたり教材研究がなされており、自分自身も教材に入り込みながら参観させていただいた。「ふきのとう」という作品をもっと読んでみたいと思われた。教材研究のポイントを知りたい。教材を読む視点や授業づくりの過程(授業での試行錯誤)を聞いてみたい。
- 4 音読の進め方や反応のさせ方等、勉強になる要素がたくさんありました。

- 5 お日さまのほのぼのとしたイメージが伝わってきた。お日さまの人物像を他のものとの違いで捉えさせたのは、よかったと思う。他のものの人物像を出させればよかったのではないかな。
- 6 お日さまが他と異なる点を探す、という発問内容は、他をよく読んでいないと答えられず、すばらしいと思いました。「発問」も教員側の言語技術になるということが分かりました。
- 7 子供たちの反応する言葉が参考になりました。学級でも使いたいです。対比によって人物像を明らかにすること、とっても楽しかったです。やってみたいと思いました。
- 8 対比を使って、「ふきのとう」を考えるのは面白く、子供たちも自然と全体を見るようになるのではないかと思った。
- 9 岩下先生の授業雰囲気に取り込まれました。とても勉強になりました。低学年の教材で、読むことの楽しさを教える導入とっていましたが、それぞれの登場人物との関係や情景描写など、いろいろなことを学べる良い教材だと改めて理解できました。
- 11 発問のスペシャリストの岩下先生の指導技術を見ることができて良かったです。
- 12 間を取った音読から始まる授業は、とても引き付けられました。本時のめあても分かりやすいなど感じました。数を5つ以上としても多様な意見が出ていいなと思います。
- 13 「粒立てて」という言葉が新鮮でした。児童役の学生たちに考えさせるための問いかけ方に工夫があったと思います。
- 14 粒立ってくる音読、そして、太陽、お日さまの他とは違う点を5つ考えさせるという展開が面白かったです。最後のまとめをどうされるのか、とても気になりました。
- 15 発問内容、発問方法について分かった。発問について自身もよく考えていきたい。
- 16 とても、そしていつも引き込まれる授業を有難うございます。シリアルにかつ、ストーリーをもって人物像に迫っていく技術は見事と思います。見習っていきます。
- 17 児童役だったのですが、本当の小学2年生のように授業にのめり込んでいきました。机間指導の際に「これいいね！ 後で言ってよ。」など、児童のやる気を引き出すのがとても上手だと思いました。
- 18 言葉を粒立てる。すてきな言葉だと思いました。場面ごとに読むのではなく、文章全体から、好きな場面、人物について、子供たちが読み取っていくのも面白いのではないかと思います。おひさまの存在も、キーになり、読みが深まっていくように思います。
- 19 討論会で申し上げた通りです。「対比によって人物像を明確にする技術」が授業の中で効果的に使われていました。結果として、読みも深まっていたと思います。

検討4 文学的な文章

- 1 児童に思考させ、授業に参加させる発問の仕方について、大変勉強になりました。
- 3 これからの学会の方向性について考えさせられた。やはり、言語技術の三層の視点をベースとして、新学習指導要領とも少しつなぎ合わせていくことも必要なのか……と思う。三層のうちのどれか一つをテーマに（重点として）全授業者が授業する、というのも悪くないような気がする。また、教材研究において使われている一つ一つの言葉によく着目していく価値を実感した。
- 4 対比の手法、暗唱の効果等が勉強になりました。本当にめあてや振り返りがなくてよいのか、

興味があります。

- 5 それぞれの登壇者の御意見がよかった。
- 7 発言の型、子供の言語技術、作品分析方法、もう一度読み直します。
- 8 「音読」もただ読むだけでなく、教師が読み方を示すことが大切だと分かった。
- 10 現場の試行錯誤、葛藤の中にこそ、答えがあるという一言から勇気をいただきました。自分の考えを実践し、反省し、更に実践につなげたいと思います。
- 12 分かりやすい課題でした。否定がないという意見に対しては、自身の授業の進め方を振り返らせてもらう機会となりました。
- 13 文学作品で何を教えるかをいつも迷うが、それを示してもらえる検討会だったと思いました。
- 14 とても刺激的で勉強になりました。貴重で示唆に富むお話、有難うございました。
- 16 言葉に着目した、よい授業でした。このような授業では、学習者が前向きに授業に臨む姿が見られるような授業を見ることができました。
- 17 対比することを通して、読解力を付け、次の「スイミー」に繋げる系統的な学習やとても重要だと思いました。2年生に対して「ため」という音読指導が疑問でしたが、納得がきました。
- 18 中学校の読みの授業では、自分の考えの根拠として対比や象徴表現などを挙げて語る子供がたくさんいます。小学校でのこのような授業の積み重ねで育まれているのだと感じました。2年生の子供には、始めから、「好きな場面はどこ？」と聞いて、その理由を話させるというのは難しいですか？ きっと好きな理由を説明するときに、他の場面と比べて話すのではないかなと思いました。
- 19 充実していたように思います。

日程・会場・役員の運営についての御意見

- 2 遠方からも来やすい場所でよかったです（時間帯も）。有難うございました。
- 3 東京ということでアクセスがしやすく、便利だった。また、会場運営においても、実行委員の方の御尽力のお蔭で非常に行き届いたものだった。本当に有難うございました。
- 4 運営、お疲れ様でした。とても快適な会場でした。
- 5 大変スムーズな運営で、さわやかな学会でした。とても勉強になりました。日程、会場も良かったです。運営にあられた先生方、有難うございました。
- 8 授業の前に授業のねらいなど、少し話す時間があってもよいのではないかと思った。
- 9 大変すてきな会でした。運営の方々、本当に有難うございました。
- 11 すばらしい会場でした。学食も使えてとても良かったです。
- 16 準備の段階から、丁寧な対応を進めてくださり、事務局の皆様の運営には、感謝申し上げます。また、とても勉強になりました。
- 17 エレベーターが混雑していました。
- 18 有難うございました。私も発言したいことがありましたが、タイミングを逃してしまったことが心残りです。次はチャレンジしたいと思います。
- 19 大変に快適な会場で、素晴らしいです。

この大会をどこで知りましたか？（該当に○を。複数回答可。）

- 1 学会事務局通信 3名
- 2 案内やチラシ 5名
- 3 雑誌や新聞の広告 1名
- 4 知人 長谷川祥子先生 2名, 増田泉先生 1名, 渡辺真由美先生 1名, 学校長 1名
- 5 学会HP 2名
- 6 柳谷直明F b 0名
- 7 コクチーズ 3名
- 8 その他 1名 (理事会)

その他の御意見・御感想

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 大変勉強になりました。有難うございました。3 事務局が移動して初年度の大会ということで、大変な部分が多々あったかと思います。日々の業務がお忙しい中、今日までの御準備、有難うございました。来年度以降も参加させていただき、勉強していきたいと思います。6 初めて参加させていただきました。言語技術について勉強になりました。9 どこに重点を置くかによって、いろいろな力が身に付くことが分かった。ただ、目の前にいる児童にとって、何が一番大切なのか、将来、どういう力を持っているといいのかを考えながら授業を組み立てていきたい。11 4つの授業は見応えがあってよかったのですが、検討の時間が短くなってしまうので、もっと少なくともよいのかなと思いました。もっと野口先生、鶴田先生のお話を伺いたかったです。12 聞きたい続きの話を打ち切られた方が多かったことが残念でした。16 ありません。上記の通りです。13 初めて参加しました。4つの模擬授業と検討会という形式が、とても実践的で面白かったです。有難うございました。 |
|---|